

対応インクタンク

キヤノン BCI-9BK 7eBK 7eC 7eM 7eY

対応プリンタ

PIXUS Pro9000 iP9910 iP8600 iP8100 iP7500 iP7100 iP6700D iP6600D
iP6100D iP5200R iX5000 iP4500 iP4300 iP4200 iP4100 iP4100R
iP3500 iP3100 iP3300 MP970 MP960 MP950 MP900 MP830
MP810 MP800 MP790 MP770 MP610 MP600 MP520 MP510
MP500 MX850

セット内容 (数量はパッケージをご覧ください。)

- ①インクボトル
- ②注入器
- ③注入パイプ
- ④ボール栓落とし治具
- ⑤つめかえホルダー
- ⑥プラグ
- ⑦ポリ手袋
- ⑧取扱説明書

※つめかえ工具は専用品です。
本製品をお使い頂く時は、他のキヤノン対応つめかえ工具(ドリルやプラグ)は使用できません。必ず、上記の工具を使用してください。本製品以外では、工具の種類が違いますので、不完全なつめかえとなり、プリンタに損傷を与える恐れがあります。

インク成分

- ・ブラック…[蒸留水]70%~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%~10%・[染料]1%~15%
- ・シアン…[蒸留水]70%~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%~10%・[染料]1%~15%
- ・マゼンタ…[蒸留水]60%~70%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%~15%・[染料]15%~25%
- ・イエロー…[蒸留水]70%~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%~10%・[染料]1%~15%
- ・ブラック(顔料)…[蒸留水]50%~60%・[グリコール]20%~30%・[その他顔料など]5%~10%

○注意事項

- つめかえをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全なつめかえや説明内容と違った使い方をすると、インク漏れとなりプリンタに損傷を与える場合があります。
- 本製品をお使い頂く時は、他のキヤノン対応つめかえ工具(ドリルやプラグなど)は使用できません。工具の種類が違いますので、使用しないでください。
- 他社製つめかえインクと混合・併用、再生・互換品のインクタンクにつめかえて使用すると、印字不良やインクタンク不具合となる恐れがあり、これらの原因でトラブルとなった場合はユーザーサポート及びいかなる責任も負いません。
- BCI-9BK、BCI-7eシリーズのICチップ付インクタンクは、インクをつめかえてもチップエラーなどが発生した場合に使用ができなくなります。つめかえたこととインクタンクのICチップエラーは関連がありませんので、商品補償などの責はご容赦くださるようお願いいたします。

○使用上の注意と保管について

- 本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐに消えません。ご使用に際しては、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持ちたらないようにしてください。インクが噴き出したり、こぼれ落ちたりします。
- 注入パイプは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ(箱)に入れ、小児・幼児の手の届かないところで保管してください。
- 子供の手の届く所に置かないでください。
- 飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医師の診断を受けてください。
- 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
- インクは開封後1年以内に使用してください。
- つめかえた後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりと、直射日光や高温多湿の場所を避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐためにインクボトルは立てて保管してください。

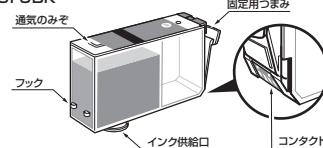
○製品について

- 本製品のインクは弊社製インクを使用しており、純正インクの印刷色合いとは差異が生じる場合があります。
- 本製品はキヤノン(株)とは無関係で、承認を受けたものではありません。
- 製品上の原因による品質不具合が認められた場合は、同数の新しい製品と取替いたします。それ以外の責はご容赦くださるようお願いいたします。

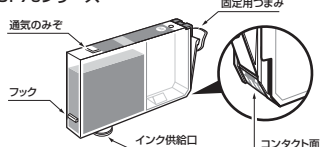
各部の名称

インクタンク

●BCI-9BK

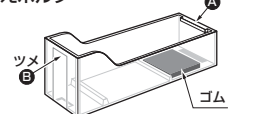


●BCI-7eシリーズ



※純正カートリッジに貼ってあるシールは絶対にはがさないでください。

つめかえホルダー

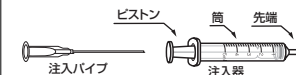


ホルダーはつめかえ作業とインクタンクの一時的な保管用としてお使いになれます。保管についてはつめかえ手順⑨の「ホルダーを保管用として使う方法とお願い」を参照してください。

注入器・注入パイプ

○安全上の注意

注入パイプは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ(箱)に入れ小児・幼児の手の届かないところに保管してください。



つめかえの前に必ずお読みください

○インクの残量表示について

インクタンクの特性上、つめかえたインクタンクを取り付けると下記のようになります。

1. インクの残量は表示されません。
インクランプ(赤)が点滅していたインクタンクは、つめかえ後も同じように点滅となり点灯とはなりません。
2. パソコンやプリンタの画面に(X)や(!)が表示されていたインクタンクは、つめかえ後も同じような表示となりマークが消えません。

残量の確認はインクタンクをプリンタから取り出して、実際のインク量を見てインク切れとならないよう、早めに次のつめかえを行ってください。

○インク残量検知機能の無効操作について

残量や残量検知についてのエラー表示でプリンタが一時的停止状態となります。この場合、本取扱説明書のつめかえ手順のあとの「印刷続行操作とインク残量検知機能の無効操作」を参考にボタン操作を行ってください。インク残量は表示されなくなりますが、印刷は通常通り行えます。この操作は、エラーでプリンタが停止したタイミングで行い、事前の操作はできません。

★この操作による無効化はつめかえたインクタンクだけであり、新品インクタンクを取り付けた後は残量表示は有効に戻ります。

★インクをつめかえたインクタンクは、メーカーによっては不正改造にあたりとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不備点、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。

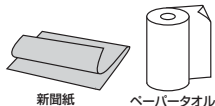
○ファックス機能付き複合機の受信印刷について

対象プリンタ:PIXUS MX830 MX850

つめかえ後は、一時的に受信内容の自動印刷が行われなくなります。その場合は、メモリーに受信内容が保存される代行受信となりますので、手動でメモリーから印刷してください。インク残量検知機能の無効操作を実行した後に再び、自動印刷されます。(メモリーからの手動印刷の方法は、プリンタの取扱説明書を参照してください)

準備

つめかえの時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業してください。



使用するインクタンク

純正インクタンクにつめかえてください。
以下のものは対応していませんので、使用しないでください。
■再生品インクタンク
■互換品インクタンク
■他社つめかえインク使用品

つめかえ回数(推奨限度回数)

つめかえによるインクタンク再使用は3~4回までが適当です。それ以上のつめかえはインク供給に不具合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

つめかえ作業

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

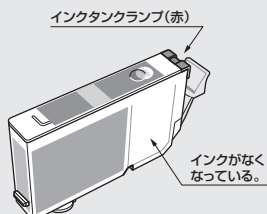
つめかえのタイミング(インクタンクに初めてつめかえする)

初めてインクタンクにつめかえをするタイミングは、パソコンや液晶モニターに「インク切れ(X)」のマークが表示され、インクタンクのインクランプ(赤色)が点滅し、実際にインクが無くなった時に行ってください。

※インク残量表示が「インクが少なくなっています(!)」の場合でもつめかえられますが、印刷を続けると(X)となります。また、インクの残量が少いとインクが漏れて作業が出来ない場合があります。

下記のプリンタではインクランプ(赤色)の点滅はありません。
iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/iP4100/iP4100R
MP900/MP790/MP770

[インクタンクの状態]

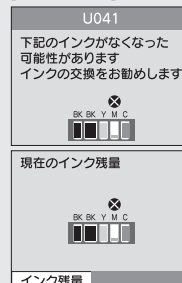


[パソコンモニター]の表示



(X)の表示

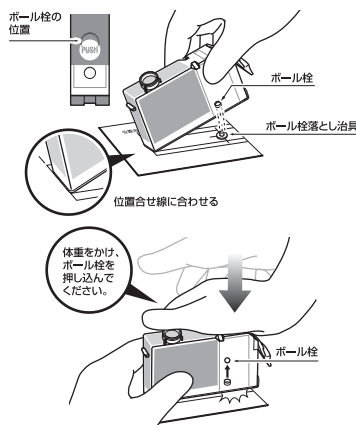
[液晶モニター]の表示



1 インクタンクにインク注入口をあける

インクタンクの図で示すところにボール栓があります。注入口はこのボール栓を落として穴をあけます。

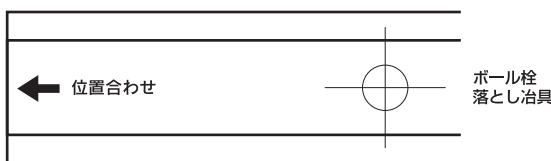
1. 下記のボール栓落とし位置あわせ図の上にボール栓落とし治具(②)を両面テープやセロハンテープなどで固定してください。インクタンクを右のイラストのように持ち、角を位置あわせ線に合わせるとボール栓とボール栓落とし治具が合います。



2. ボール栓とボール栓落とし治具が合っているのを確認したら、体重をかけて上から押し込むように力を加えてボール栓を中に押し込みます。

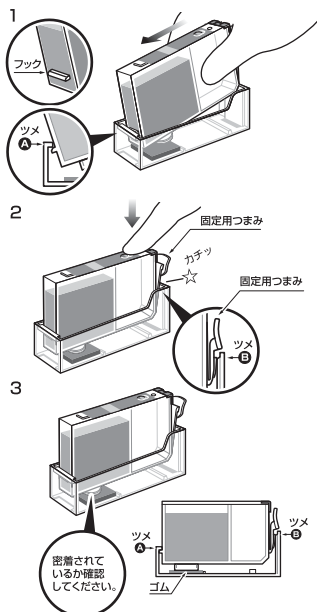
※インクタンクの中にボール栓が残りますが、インクの流れに支障はありません。

ボール栓落とし位置あわせ図

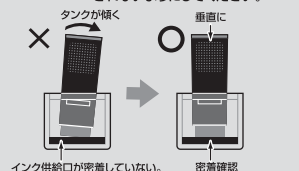


2 インクタンクをホルダーに固定する

1. インクタンクの図で示す所にフックがあります。フックをつめかえホルダー(③)のツメAの下に差し込むように入れます。
2. インクタンクのPUSH部分を押し、固定用つまみがツメBに「カチッ」という音がするまで押し込んで固定してください。
3. インクタンクのインク供給口がホルダー底側のゴムに全体に密着していることを確認してください。



注意 カラーインクタンクは斜めに固定されないようにしてください。



【重要】

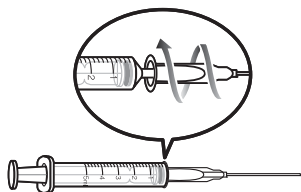
作業でインクタンクが傾き、インク供給口と漏れ防止黒ゴムの密着が失われることがあります。この状態ではインクが替える時、インクが漏れる恐れがありますので、垂直に直して密着を確認してからつめかえてください。

3 注入器に注入パイプをつける

注入パイプを注入器先端に差し込み、強くねじ込んでください。

注意

ねじ込み方が弱くと注入中にインクが漏れたり、パイプが外れたりして、インクが飛び散る場合があります。

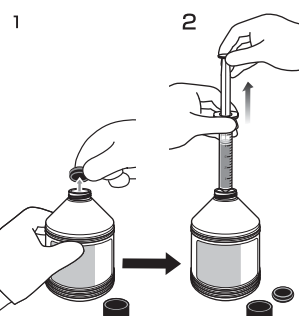


4 注入器にインクを移し替える

1. インクボトルのキャップを取り、手袋を着用してボトルの口のゴムキャップを外してください。
2. ボトルからインクを注入器に移し替えます。

注意

※注入器の最大容量は5mlですので、何回か注入する量に応じて移し替えてください。
※つめかえがすんだら、外したゴムキャップを元に戻して、キャップをしっかり締めてください。



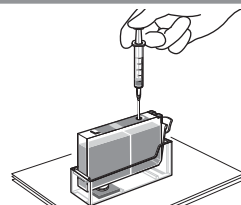
5 インクを注入する

ボール栓落としと治具で開けた注入口に注入パイプの先端を1cm以上差し込み、ピストンをゆっくりと押しながらインクを注入してください。インクはスポンジと同じくらいの高さまで注入してください。

○インクの注入量の目安

BCI-9BKの場合...約15~20ml
その他のインクタンクの場合...約7~10ml

※上記の注入量はインクを使い切ったときの推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。
※ノズルの根元で注入口をふさがれないよう、空気の抜ける隙間を確保しておいてください。隙間を確保せずにインクを入れたら空気に押し出されて供給口や通気のみぞからインクが漏れてきます。また、注入時は漏れなくてもホルダーから外した後、インクがあふれる可能性があります。通気のみぞからインクが漏れてくると、プリンタにセットした時にインクが出ない場合があります。

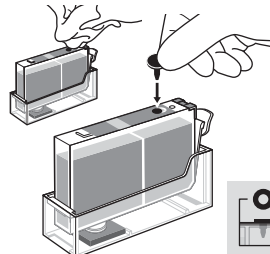


6 注入口にプラグを差し込む

注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。付属のプラグ(⑥)を注入口に差し込み、インクが漏れないようにしっかりと栓をします。

注意

注入口にプラグがしっかり差し込まれていないと、インクが供給口から流れ出て止まらない場合があります。しっかりとプラグを差し込んでください。

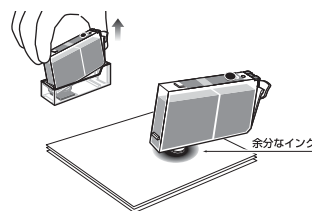


7 インクタンクをホルダーから外し、余分なインクを除く

インクタンクは固定用つまみを押すとホルダーから外れます。ペーパータオルなどの上に10~20秒置いて余分なインクを除いてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。

注意

インクがこぼれた状態でインクタンクをプリンタに装着しないでください。



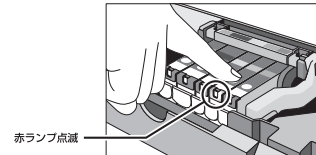
8 つめかえたインクタンクをプリンタにセットする

インクタンクの特性上インク残量の記録と表示は復元されないため、インクが入っているインクタンクをプリンタに取り付けても「点灯」とならず、インクランプ(赤色)は「点滅」状態となります。この状態でプリンタのふたを閉め、プリンタ本体のエラーランプ(オレンジ色)が点滅(点灯)しなければ、印刷が可能です。

インクタンクを取り付けてもプリンタが停止して、エラーランプ(オレンジ色)が点滅(4回または13回)している、液晶モニターにエラー番号(U041またはU130)が表示されている場合は、次の「印刷続行とインク残量検知機能無効の操作方法について」の手順で対処してください。エラーが解除され、印刷が可能となります。

※上記以外の点滅回数やエラー番号が表示され、インクランプ(赤色)が消えている場合は、他のエラーが予想されます。トラブルシューティングを参照してください。

※下記のプリンタは、元々インクランプ(赤色)が光らない仕様なので、すぐ印刷が可能です。
iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/iP4100/iP4100R/MP900/MP790/MP770



9 印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法について

つめかえたインクタンクはインクタンクの特性上、使用中にエラー表示され停止しますが、印刷の続行とインク残量検知機能を無効にする操作(ボタン押し)をすれば解除され、印刷可能となります。プリンタ本体のエラーランプ(オレンジ色)が点滅(4回または13回)している、液晶モニターにエラー番号(U041またはU130)が表示されて停止した時に、表のプリンタに対応した説明内容に従いボタン操作の対処をしてください。エラーが解除され、印刷が可能となります。

MP970/MP610/MP520/MX850(※1) MP960/MP600/MP510/MP810	MPシリーズ説明②へ
iP4500/ iP4300/iP3500/iP3300	iPシリーズ説明②へ
MP500/ P950/MP830(※1)/MP800	MPシリーズ説明①へ
iP4200/iP7500/iP6600D/iP5200R/ iX5000/Pro9000/ iP6700D	iPシリーズ説明①へ
iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/ iP4100/iP4100R/MP900/MP790/MP770	操作は不要。

(※1) ファクシミリ受信印刷について注意事項を参照ください。

※印刷の続行操作をしても残量表示の(!)や(x)のマークは消えませんが、印刷は可能となります。
※インク残量検知機能の無効操作のあとは残量表示されませんので、インクタンクのインク量に注意してください。
※インクタンクを新しいもの、または、別のものに交換すれば、そのインクタンクのインク残量が表示されます。

MPシリーズ説明①

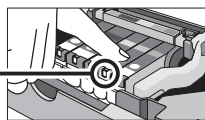
MP500・MP950・MP830・MP800

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

① つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

赤ランプ
点滅



② つめかえた後の印刷続行

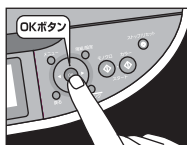
① つめかえ後にカートリッジをプリンタに戻し、
液晶モニターにこの表示が出たら「はい」を選
択し、プリンタ操作パネルのOKボタンを押せば、
印刷が可能となります。

※ つめかえ後は、つめかえた実際のインク量と液晶
モニターの表示は異なります。インクが無くな
らないように、早めにインク残量を確認して少な
くなら次つめかえを行ってください。

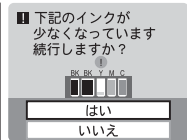
② 印刷中または印刷開始前にインクがなくな
った表示(U041)が出てエラーランプが点灯した
場合は、プリンタ操作パネルのOKボタンを
押してください。

①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。

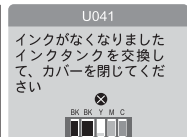
①から②の状況は3回ほど繰り返されます。
その後、⑥インク残量検知機能エラーが
表示されます。



① 【液晶モニターの表示】



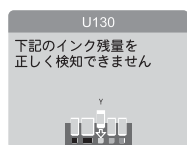
② U041



③ インク残量検知機能エラーの表示(U130)

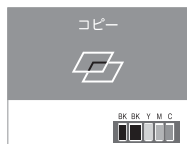
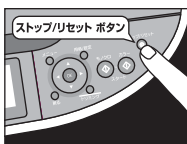
印刷が可能となった後に、液晶モニターに右のようなメッセージ表示と
U130のエラー表示が出てエラーランプが点灯したら、次の「④インク残量
検知機能を無効にする操作」を行ってください。

※ ファクス付き複合機MP830はこの続行操作の間は代行受信となります。
下記の「④インク残量検知機能を無効にする操作」のあとから受信設定通り
に受信したあとに用紙へ印刷されます。



④ インク残量検知機能を無効にする操作

- ① ストップ/リセットボタンを5秒以上押し続けて
ください。
- ② 自動的にエラーランプが消え、表示されたイン
クタンクのインク残量検知機能が無効とな
ります。
- ③ 操作を行ったインクタンクの残量が表示され
なくなります。



※ キヤノンMP500でBCI-7eYを使用時の操作例です。

MPシリーズ説明②

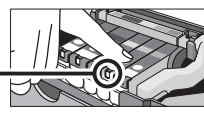
MP970・MP960・MP610・MP600・MP810・MP520・MP510・MX850

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

① つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

赤ランプ
点滅



② つめかえた後の印刷続行

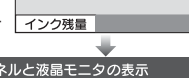
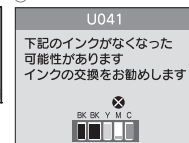
つめかえたインクタンクをプリンタに取り付け
た後、操作パネルのエラーランプが点灯して
いて、液晶モニター表示が①のインクがな
くなった時と変わっていない場合は、操作パ
ネルのOKボタンを1回押してください。エラ
ーランプが消え、液晶モニターが②の表示とな
り印刷続行が可能となります。

※ ①の液晶モニターには(X)が表示されたま
まですが、OKボタンの操作によりエラーが
解消されたので、印刷が続行できます。

※ はじめから操作パネルのエラーランプが
消えていて、液晶モニター表示も①とな
っている場合はボタン操作の必要はあり
ません。



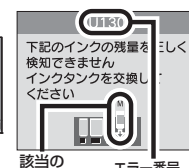
①



印刷続行が可能な操作パネルと液晶モニターの表示

③ インク残量検知機能エラーの表示(U130)

印刷続行が可能となった後に、液晶モニター
に右のようなメッセージとエラーが表示され、
操作パネルのエラーランプが点灯してしまし
たら、次の「④インク残量検知機能を無効に
する操作」を行ってください。



エラーランプ点灯 該当のインクタンクを
表示

④ インク残量検知機能を無効にする操作

- ① ストップ/リセットボタンを5秒以上押し続け
てください。
- ② 自動的にエラーランプが消え、表示されたイン
クタンクのインク残量検知機能が無効とな
ります。
- ③ 操作を行ったインクタンクの残量が表示され
なくなります。



① 5秒以上押し続ける

② エラーランプ消灯

③ 残量を表示しなくなる

※ キヤノンMP600でBCI-7eMを使用時の操作例です。

iPシリーズ説明②

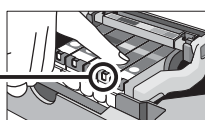
iP4500・iP4300・iP3500・iP3300

基本的にパソコン画面のエラーメッセージ表示とステータスモニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

① つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

赤ランプ
点滅



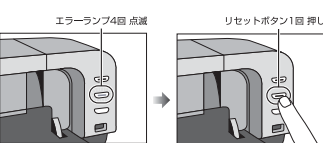
② つめかえた後の印刷続行

① インクをつめかえたカートリッジをプリンタに戻
すと、ステータスモニターのカートリッジ表示が(!)マ
ークとなり、印刷が続行できるようになります。

② 印刷中または印刷開始前にプリンタが停止し、操作
パネルのエラーランプが4回点滅していて、ステ
ータスモニターのカートリッジ表示が(X)マークと
なり、リセットボタンを1回押してください。

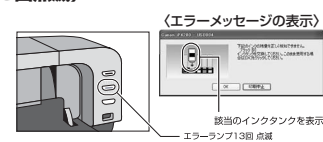
①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。

①から②の状況は3回ほど繰り返されます。その
後、⑥インク残量検知機能エラーが表示されます。



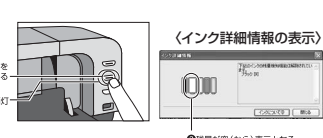
③ インク残量検知機能エラーの表示(エラーランプ13回点滅)

印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画面に
エラーメッセージが表示され、操作パネルのエラーランプ
が13回点滅したら、次の「④インク残量検知機能を
無効にする操作」を行ってください。



④ インク残量検知機能を無効にする操作

- ① リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
- ② 自動的にエラーランプが消え、表示されたイン
クタンクのインク残量検知機能が無効とな
ります。
- ③ 操作を行ったインクタンクの残量が表示され
なくなります。

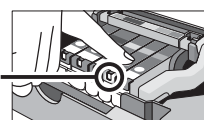


※ キヤノンIP4200でBCI-9BKを使用時の操作例です。

① つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

赤ランプ
点滅



② つめかえた後の印刷続行

つめかえたインクタンクをプリンタに取り付け
た後、操作パネルのエラーランプが4回点滅して
いて、エラーメッセージの表示も変わっていない場合は、操作パ
ネルのリセットボタンを1回押してください。
エラーランプが消え、パソコンの画面にはエラーメ
ッセージの表示が消え、ステータスモニターの表示のみ
となり、印刷続行が可能となります。

※ はじめから操作パネルのエラーランプが消えて
いて、エラーメッセージが現れない場合はボタン
操作の必要はありません。

※ 印刷中のステータスモニターには(X)が表示され
たままとなりますが、リセットボタンを操作したこ
とによりエラーが解消されたので、印刷が続行でき
ます。



エラーランプ4回点滅

(X)の表示

エラーメッセージの表示
が消えます。

ステータスモニターの表示

印刷続行が可能な操作パネルとステータスモニターの表示

③ インク残量検知機能エラーの表示(エラーランプ13回点滅)

印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画
面にエラーメッセージとステータスモニターが表
示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅し
たら、次の「④インク残量検知機能を無効にする
操作」を行ってください。

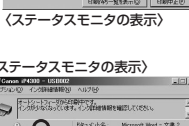


エラーランプ13回点滅

該当のインクタンクを表示

④ インク残量検知機能を無効にする操作

- ① リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
- ② 自動的にエラーランプが消え、表示されたイン
クタンクのインク残量検知機能が無効とな
ります。
- ③ 操作を行ったインクタンクの残量が表示され
なくなります。



② エラーランプ消灯

③ 残量(空)から表示となる

※ キヤノンIP4300でBCI-7eMインクタンクを使用時の操作例です。

インクタンクをプリンタに取り付け、最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。

※クリーニングの繰り返しはインクタンクの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

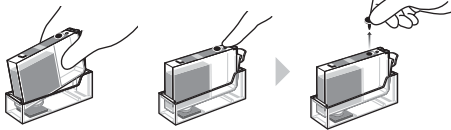
●つめかえ回数

つめかえによるインクタンクの再使用は3～4回までが適当です。

それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめかえたインクタンクの使用を止めて、新しいインクタンクをお使いになることをお勧めします。

●2回目からは……

インクタンクをホルダーに取り付けてプラグを外し、③～⑦の手順でつめかえを行ってください。



手順③へ

●つめかえが終わったら

①つめかえた後の残ったインクはキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け涼しいところに立てて保管してください。

②ホルダーは付着したインクを水で洗い流して、水分をふき取ってからパッケージに入れて保管してください。

●ホルダーを保管用として使う方法とお願い

①保管方法 インクタンクをホルダーに取り付けます(手順②参照)。

さらに空気の通路に接着テープを貼りつけて、インクタンクを密閉状態にして保管してください。

※インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となり、保管効果がなくなりますので注意してください。

②お願い 長期間の保管用ではありません。インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にインクタンクをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。

トラブルシューティングQ&A

クリーニングの繰り返しはつめかえたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。

以下の状態のインクタンクでつめかえをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。

1.再生インクタンク、互換品インクタンク、他社つめかえインクと混合、併用などしている場合。(純正新品使用後のインクタンク対応です) 2.つめかえ回数が取扱説明に記載の推奨限度回数を超過して不具合となったもの。3.他社つめかえインクや治具・道具を使用したあとのインクタンク。 4.インクがなくなって長い間放置(使用しない)されていて、つめかえ不能なインクタンク

	症状	確認事項	処 置
インクタンクのインクランプ(赤色)について	取り付けたら点滅して点灯にならない。	つめかえ後は点灯となりません。	インクタンクの特性上、インク残量の記録と表示は復元されないため、インクが入っていてもランプは点灯とならず点滅となります。プリンタのフタを開けて、プリンタにエラーランプ(オレンジ色)が点滅(点灯)していなければ印刷が可能です。オレンジランプが点滅(点灯)している場合は、印刷の続行やインク残量検知機能の無効操作をしてください。
つめかえ作業中	インクの漏れが止まらない。	他社のつめかえを先に行っていないませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。つめかえ方法や治具の形状が違いますので、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず純正品からつめかえて、本書に記載されていること以外は行わないでください。
	注入中にインクが漏れてくる。	つめかえホルダーの取り付け方を確認してください。	取り付け方が不完全ではないですか(浮いたり傾いたりしていませんか。)インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
	プラグをした後にインクが漏れている。	他社のつめかえを先に行っていないませんか。	プラグが注入口に合わないことがあり、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず本品の方法と付属品でつめかえてください。本書に記載されていること以外は行わないでください。
		プラグの差し込み方を確認してください。	プラグの差し込み方が不完全ではないでしょうか。インクタンクをホルダーに付け、差し込み直してください。
			余分なインクが残っているか入過ぎの可能性もあります。インクタンクをペーパータオルなどの上に置き、インク漏れが止まってから使用してください。
		上記以外の場合は、つめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。(TEL:0120-968-268)	
印刷の時	つめかえた色のインクが出ない。印刷にかすれやスジが入る。または、途中で途切れる。	つめかえ回数が推奨限度回数をオーバーしていませんか。	推奨限度は3～4回までです。つめかえ回数が多くなるとインクタンクのフェルトの中に空気の泡が多くなり、インクの流れが悪くなり、かすれや途切りやすくなります。新しいインクタンクへの交換をお勧めします。
		インクが漏れていませんか。	インクの漏れはノズルへのインク供給過多となり印刷ができません。プラグの差し込み方が悪くて空気が入って漏れる、余分なインクが残っていて漏れるなどの可能性があります。それぞれ確認と修正をしてください。
		純正品以外のインクタンクを使用していないませんか。	再生インクタンク、互換インクタンクには対応していません。これらの品へのつめかえはインク成分が違うため、インク漏れや印字不良となる可能性があります。純正品インクタンクにつめかえてください。
		他社のつめかえを先に行っていないませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。混合した場合、インク成分が違うためインク漏れや印字不良となり、かすれや出なくなるおそれがあります。
	色合いがおかしい。	ノズルチェック印刷をしてください。	全部のインクが出ているか確認してください。出ていないインクの色があると、色合いが変わります。上記の「インクが出ない」項目を確認してください。インクは弊社オリジナルインクを使用しており、同等の色合いとなるよう調整されていますが、若干の色の差異が生じる場合があります。
		(カラーインク)インクタンクの色とつめかえた色と合っていましたか。	シアンとフォトシアン、マゼンタとフォトマゼンタなど、よく似た色をつめかえてしまう場合があります。このような場合はいったんインクを全部抜いて、本来の色のインクを入れ直し正常な色になるまで印刷する必要があります。
		(黒インク)2個の黒インクがある場合、入れ違いはありませんか。	BCI-7eBKは染料系の黒、BCI-9BKは顔料系の黒です。種類が違いますので色合いも違い、互換性はありませんので入れ違いの場合は回復出来ません。印刷不良や思わぬ事故などの原因となりますので使用をやめてください。
		他社のつめかえを先に行っていないませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。混合または併用した場合、色が変わる恐れがあります。
		用紙のインクが乾いていませんか。	用紙により差がありますが、インクは印刷してから乾くまで時間がかかり、その間、色合いは変化して行きます。少なくとも30分以上経過してから確認してください。
		用紙や設定が変わっていませんか。	用紙が変わると色合いが違って印刷されます。同じ用紙と設定にしてください。
		上記以外の場合は、つめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。(TEL:0120-968-268)	
ホルダー	ホルダーに付けていたらインクが漏れて来た。	つめかえホルダーの取り付け方を確認してください。	取り付け方が不完全ではないですか(浮いたり傾いたりしていませんか。)インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
	長い間保管していたらインクが漏れてきた。	長期間の保管用ではありません。	インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと、自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にインクタンクをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。
印刷の続行と残量検知機能解除操作について	残量検知機能解除操作が必要なプリンタかどうか分からない。	インクタンクのインクランプ(赤色)が光るプリンタが確認してください。	BCI-9BKまたはBCI-7eシリーズのインクタンクを取り付けて、インクランプが赤く光るプリンタは残量検知機能の無効操作が必要です。光らないプリンタは操作の必要がなく、そのままつめかえたインクタンクで印刷できます。
	残量検知機能解除の画面表示が現れない。	解除の画面表示は、すぐ現れない場合もあります。	それまでは、つめかえたインクタンクをプリンタに取り付けて通常通り印刷が実行されれば、継続して使用できます。
インクタンクエラーの表示	プリンタ本体のインクランプが点滅(点灯)して、プリンタ液晶画面やパソコンモニターにインクタンクのエラーが表示される。	プリンタのエラーランプの点滅回数、または液晶画面のエラー番号を確認してください。	点滅回数(エラー番号)が7回(U071)、14回(U140)、15回(U150)の場合は、該当するインクタンクのICチップエラーなどによる認識エラーです。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。インクをつめかえたこととは関係ありません。
その他のエラー表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅(点灯)して、プリンタ液晶画面やパソコンモニターにエラーが表示される。	プリンタのエラーランプの点滅回数、または液晶画面のエラー内容を確認してください。	点滅回数(エラー表示)が8回(廃インクの表示)の場合は、クリーニングや印刷中に排出される廃インク吸収体が満杯となる表示です。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。インクをつめかえたこととは関係ありません。

サンワサプライ
つめかえインク サポートセンター

tel:0120-968-268

inksupport@sanwa.co.jp

受付時間：月～金(土・日・祝日をのぞく)
9:00～12:00 13:00～17:00

※フリーアクセスには、050番号のIP電話からはつながりません。
ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますよう、お願いいたします。

お願い

ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。
INK-00000

よくあるご質問

インク量が表示されない。
(X)や(!)が消えない。
赤ランプが点滅している。

➡ つめかえ手順⑨「つめかえたインクタンクをプリンタにセットする」を参照してください。

岡山 サプライセンター 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL 086-223-3311
東京 サプライセンター 東京都品川区南大井6-6-8 TEL 03-5763-0011
<http://www.sanwa.co.jp/>